

穴吹不動産流通株式会社 広島店 市況レポート (3月)

今年も公示地価が発表されました。

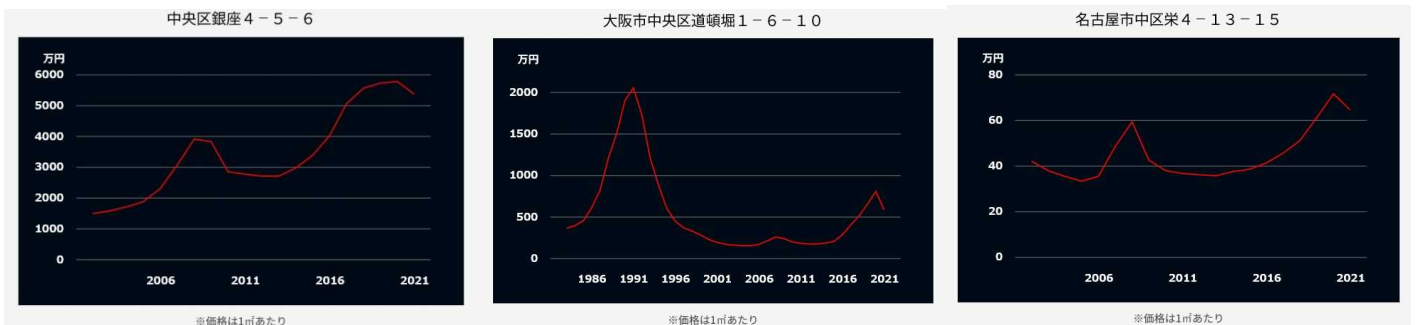
2021年3月23日に国土交通省が公示地価(1月1日現在)を発表しました。新型コロナウイルスの流行を受けて、土地を買い求める動きが減少した影響が現れました。

全国的には、密度の高い3大都市圏に大きな影響を与えています。

東京:最高地点の銀座、値下がり転じる。

大阪:商業地の下落率、都道府県で最大

名古屋:駅前の再開発が減速、地価に波及



中国地方5県においても、平均変動率は商業地がマイナス0.7%、住宅地がマイナス0.4%、それぞれ下落に転じています。

	商業地		住宅地	
	2021年	2020年	2021年	2020年
広島	▲0.9%	3.9%	▲0.4%	1.3%
山口	▲0.4%	▲0.2%	▲0.1%	0.3%
岡山	▲0.2%	1.0%	▲0.6%	0.0%
島根	▲1.3%	▲1.1%	▲0.7%	▲0.5%
鳥取	▲1.6%	▲0.8%	▲0.8%	▲0.6%
5県	▲0.7%	1.4%	▲0.4%	0.5%

商業地では昨年と比べられる5県の計435地点のうち、半数超の計235地点で下落しました。内訳は、広島県87地点、山口県48地点、岡山県40地点、島根県30地点、鳥取県30地点でした。

広島県内は、繁華街で飲食店を中心に閉店が相次ぎ、店舗賃料が下がるなどした影響とみられます。

コロナ禍で観光地も苦戦しました。広島県の世界遺産「厳島神社」のある宮島町でもマイナス 5.1%、山口県の「萩城下町」でもマイナス 2.0%でした。

住宅地では、昨年と比較できる計 1082 地点のうち、下落地点は半数の 547 地点を占めました。内訳は、広島県 216 地点、岡山県 146 地点、山口県 73 地点、鳥取県 58 地点、島根県 54 地点でした。

少なからず、コロナ禍の影響がある以上、今後も目が離せない状況です。